

新クリーム塗財
JAPAN WALL18kg入り(約23~25m²塗り)

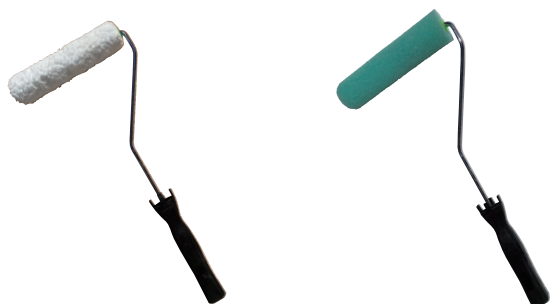
JAPAN WALL カラー



JAPAN WALL

市販品

【専用ツール】 ローラー



【専用ツール】 ステンレスコテ



ヘラコテ

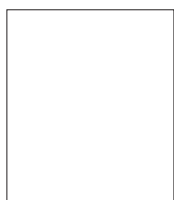


7インチ 中毛ローラー 7インチ 極細スポンジローラー 0.3ミリ ステンレスコテ

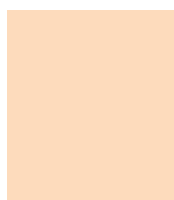
JAPAN WALL

オリジナルカラー

●本見本帳は印刷見本です。あくまでも参考用としてお使いください。



JW1



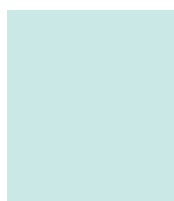
JW2



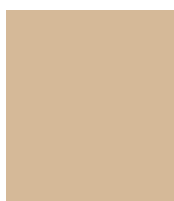
JW3



JW4



JW5



JW6



JAPAN WALL 材料・施工道具の種類と用途

NO	材 料	使用用途
①	JAPAN WALL	仕上げ塗財 (20ℓ 缶・18kg入り・約28㎡前後)
②	JW カラー	当塗財専用カラー (6色)
③	ぶんり1番 (水性分離剤)	道具等の洗浄後の汚水分離剤
4	ウレタンコーキング	入隅コーナー目地処理用 (現場調達品)

NO	施工道具名	使用用途
1	ローラー	下塗り又は仕上げ塗り用 (現場調達品)
2	ローラーハンドル	ローラーと共に使います (現場調達品)
3	ヘラコテ	塗財平面仕上げ用 (現場調達品)
4	金コテ (ステンレス) 0.3mm	塗財平面仕上げ用 (現場調達品)
5	養生テープ	養生用 (現場調達品)
6	養生用マスキングテープ	養生用 (現場調達品)
7	攪拌ミキサー	JAPAN WALL 又は色を混ぜ合わせる為の 攪拌用 (現場調達品)

※ ○ 番号は当社取扱品

※ **JW** は **JAPAN WALL** の略語です

BLUE OCEAN CO.,LTD

JAPAN WALL 使用法・ご注意・ご理解

ご 使 用 法

- 1、ご使用前には必ず十分攪拌して下さい。
- 2、柔らかくしてご使用する際及び **JW** カラーに混ぜるのは蒸留水をお使い下さい。
- 3、ローラー、コテ、吹き付け機等の道具を使用します。(別紙用具参照下さい。)
- 4、入隅コーナーは、平面を塗る前に当塗財を先行して注入、塗布して下さい。
- 5、塗装面に安定したパターンと、一定の塗り厚を行なう方法は、ローラーに当塗財を十分含ませメッシュ板を使用し、ローラーを数回回転します。
ローラー全体に塗財を馴染ませてから塗ります。
以上の方法を繰り返し行なう事で、安定したパターンと、一定の塗り厚が期待できます。
※下地対象物（パテ下地等）が透ける様でしたら再度塗ります。
- 6、表面仕上げを平滑な表情とする場合は、0.3 ミリ厚のステンレスコテを使用、ローラーで塗られた表面上部を、横方向にスライドします。(平滑仕様は下塗りが未乾燥の状態で行います)

ご 注 意

- 1、当塗財は内装仕上塗財です。
- 2、当製品は水性である事、そして特徴あるクリーム状を保つ為に 4℃以下の保管、直射日光の当たる場所、35℃以上での保管は避け、常温保管として下さい。
2 ヶ月以上経過された物は、品質の変化及び低下が予測されますので避けて下さい。
- 3、希釈される際の水は、井戸水及び水道水は腐食の原因となる場合がありますので、蒸留水をお使いください。
- 4、下地からの墨、チョーク、汚れ等のアク又はシミが出る事が予測される場合は、臭いの出ないアク止めの下地処理を行って下さい。
- 5、下地の板間目地処理は、平滑な状態で施工して下さい。
- 6、当塗財は薄塗り（1 ミリ以下）が基本です。薄すぎると透ける場合がありますので気を付けて下さい。透けた場合は、乾燥後重ね塗りして下さい。
- 7、厚塗り（1 ミリ以上）の場合は割れ、剥離の注意が必要です。(厚塗りの場合は 2 土塗りとします)
- 8、カラーは指定の **JW** カラーをお使いください。
- 9、施工される前に色と塗りパターンの確認を終えてから仕上げ作業に入して下さい。

お 願 い

- 1、当塗財を既存クロスに塗る場合は、経年の汚れによるシミ及び、アク、臭い等が出る恐れがありますので、安全性の高い、臭いの無い「アク止めシーラー」で下地処理を行なう事をお勧めします。
経年の汚れ具合によりシーラーの下地処理の施工回数を増やす等シミ、アクが出ないことを確認後当塗財を塗ります。
- 2、表面にカビの痕跡がある場合は、カビ処理を行って下さい。
- 3、カビがボード下地まで及んでいる場合は、下地ボードを撤去し、壁内のカビ処理を行った上で新規ボードを貼り、施工して下さい。
- 4、道具等使用後洗浄した洗浄水の処理は、環境保全の為、水性塗料分離剤の使用をお願いします。
- 5、当塗財の開封後は必ず、塗財上にビニールを敷いてから、蓋をしっかりと閉め、常温保管をお願いします。
- 6、開封後はなるべく早くお使い下さい。(未開封期間 2 ヶ月)
- 7、既存の繊維壁に塗る場合は、下地まで既存壁を剥がし、アク止めシーラーを塗り、アクが出ない事を確認後、仕上げます。
- 8、当塗財で使用後の洗浄水は水性分離剤を利用し、直接下水に流さない様お願いします。

ご 理 解

下記の理由で発生した割れ（クラック）や剥離等の不具合は当製品の責任でない事をご理解下さい。

- 1、自然災害（地震、台風、雪害等）によるもの。
- 2、構造体の狂い、振動、強度不足等。
- 3、下地処理及び下地から起因する全ての現象。
- 4、指定品以外の物を混ぜて使用した場合。
- 5、油等で剥離しやすい下地。
- 6、使用期限 2 ヶ月を過ぎて使用した場合。(未使用品)
- 7、蒸留水以外の水で希釈し使用した場合。
- 8、JW カラーの見本（印刷物）と実際の塗財の色と多少の違いがある事をご理解下さい。
(施工に入る前、色の確認作業は必ず行って下さい。)
- 9、当塗財の施工面積は下地形状及び施工方法により、多少の誤差がある事をご理解下さい。

JAPAN WALL カラーのご使用法

JW カラーの使い方

- 1、20L 缶 1 缶当りに **JW** カラー 1 缶を入れます。
そして 蒸留水 を残りのカラー缶に入れ、全て出切るまでシャフルしたもの入れ 十分 攪拌して使用します。
- 2、経年後、補修用として、色ネタを少量保管しておきましょう。
- 3、オリジナル色のご提供は 6 色です。(2 色以上混ぜてのご使用はお避け下さい。)
※ **JW** カラーチャートは、色サンプルですので、必ず施工前に試し塗りを行ない 色とパターンの確認後施工します。
- 4、オリジナル色につきましては対応可能です。

JAPAN WALL のメンテナンス (お手入れ法)

- 1、手垢等の汚れは、濡れタオルを使い中性洗剤を少量付け、汚れている個所を軽く 撫でる様に拭き取ります。
- 2、キズ、ヘコミ等の補修は、当塗財をヘラで修復個所に押し付ける様にし補修します。

JAPAN WALL 環境に配慮

- 1、**JAPAN WALL** オリジナルペール缶は、従来の持ち手金具から本缶と同質の持ち手を 採用した事でリサイクルが容易となりました。
又ご家庭その他水バケツとして、広くご利用して頂ける環境に配慮したペール缶です。
- 2、当塗財ご使用後の洗い水等は、環境保全の為、下水に流さない様お願い致します。
排水の際は、水性分離剤「ぶんり 1 番」を推奨します。